

現れた女性作家たち

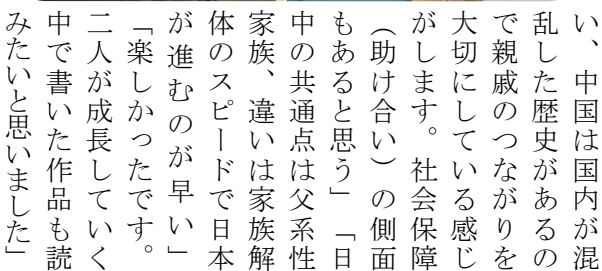
1919年に起こった五・四運動は中国の近代化に大きな影響を与えました。新文化運動の興味深かったです」「絆としがらみは表裏一体。日本はしがらみを断ちかけて絆を失ってしまった

中で、伝統的な家庭制度や因習に反逆し新しい生き方を求める女性作家たちが登場しました。文学の価値を決めるのは男性で、女性とは男性と同じ価値観を持たないと認められない時代。書き手、読み手とも男性の中で女性作家たちは口語体、自分の言葉で恋愛や結婚、社会への不満など女性の苦悩を描きました。

学習会の第1回は謝水



い、中国は国内が混亂した歴史があるの
で親戚のつながりを
大切にしている感じ
がします。社会保障
(助け合い)の側面
もあると思う」「日
中の共通点は父系性
家族、違いは家族解
体のスピードで日本
が進むのが早い」
「楽しかったです。
二人が成長していく
中で書いた作品も読
みたいと思いました」



学習会の第1回は謝冰心（しやひょうしん）のデビュー作『二つの家庭』と凌叔華（りょうしゅくか）の『刺繍の枕』を読みました。

「現代の中国の若者の結婚観や今の若者たちにどのような影響があるのか知りたい」

次回は9月20日（日）

1時半 府連205号室

「高田先生のお話は大学の講義を受けているような感じがします」

時 蕭紅『手』 丁玲『霞村にいた
す』「1919年代の小説は初もご参加いただけます。

沖縄大会には大阪府連から、

3万6千円のご協力をいただきました。
（敬称略・順不同）
菅原正義、船富忠彦、布川雅章、
植田博子、大出崇夫、藤本直枝
土井一正、五十嵐ミエ子
山本恒人、浅田美奈子、松尾豊
西支部平松悦雄、城北支部河合
利明、春名肇、中河内支部浜正
幸の7名が参加しました。
募金有難うございました。

日中納涼のつどい

恒例の「納涼のつどい」を7月4日中央区興隆園で開催、例年より少ない13名の参加でしたが会員相互の交流が深められました。つどいは中国語の歌や青春歌謡、献良節などの披露もあり、これから始まる日中の川柳サークルの紹介もありました。

7月19日はきり絵で「うちわ」を創る講習会を開きました。作品は花の絵柄と和紙を重ねて小刀で絵柄を切り抜き、絵柄の下の花が浮き出た和紙だけをうちわに張り付けます。手先の器用な人、不器用な人、慎重な人それぞれでした。かとても楽しい時間になりました。講師は大阪府連の近藤好幸さんにお願いました。

羿射九日（羿、9つの太陽を射る）

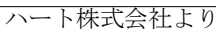
中国には「日射神話」あるいは「羿射九日（げいしやきゅうじつ）」という神話があります。『山海経』や『莊子』にこんな話があります。

大木が生えていました。この木に10個の太陽が住んでいました。10個の太陽は、俊帝（しゅんてい）の妻である羲和（ぎわ）が生んだ息子たちです。

太陽が昇って来る東南の海の向こうに湯谷（とうこく）というところがありました。湯谷の中央に咸池（かんち）という池があり、そのほとりには扶桑の

10 つの太陽たちは、9 個が咸池で水浴びをしている間に、1 個が扶桑の木を離れて空へ昇ります。太陽の兄弟たちは1日1人ずつ順番に空をかけました。

ところがある時、10個の太陽（こう・おつ・へい・てい・い・ぼ・き・こう・しん・じん・き）で強烈な熱で、大地の草や木はたちまち枯れはて、人や動物もあまりの暑さに息も絶え絶えです。俊帝は人々を助けるために天界から弓の名手、羿（げい）を遣わします。羿は、九つの太陽を次々と射落としました。射落とされた太陽の中には真つ黒な三つに分けます。（高田 佳誉子）



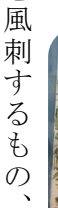
加藤義明さん 写生画ときり絵を展示

堺平和のための戦争展が、7月18・19の両日、千百名が参加してサンスクエア堺で開かれ、展示部門特別企画として「加藤義明さん写生画ときりや天神祭の力強いもや、地蔵盆や中之島公会堂など多様なテーマ



会員展と同時に、加藤さんの代の「談合」1970から80年代に描かれた大阪港（写真）や曾爾の山里、泉州玉ネギ小屋などのスケッチを並べました。まだまだ元気な中年の頃の下町風景などには、時代の優しさが溢れています。

きり絵は岸和田だんじり祭を語って失われることはありませんでした。（前田 尋）



西区戦争展

子どもたちに平和な未来を示しました。

8月2日第42回の戦争展が7月26日ユトリー戦争はいやや西区平和展が、ト東大阪で270名が参加して行なわれました。

西区で90名が参加



午後にはフリージャー

ナリストの西谷文和さんがアフガニスタン、イラク、イラン、ガザなど紛争地帯での取材の貴重な体験を「イラン、ガザ戦場のリアルと憲法9条の世界的価値」をテーマに講演されました。府連は3階で長谷川テルなどの展



されました。府連は展示コーナーに長谷川テル・戦争加害などを展示、各団体の「核兵器と平和への取り組み」「戦争する国づくり」「沖縄の状況について」などが展示されました。西支部の平松悦雄さんが、中国・台湾前線のお話を行いました。

